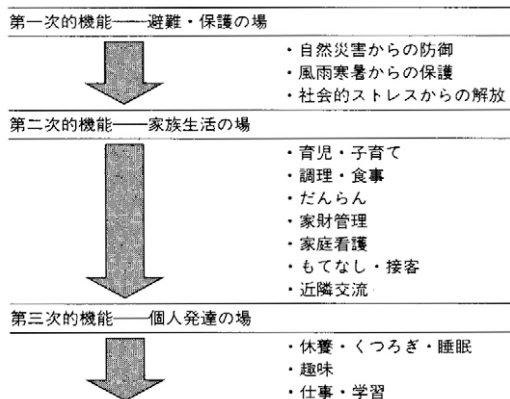


- ・この講義は、学部全体を対象とした「学部共通科目」で、1年生担当の「導入科目」です。
- ・「学部共通科目」ですので、居住環境学科の学生だけではなく、環境資源学科の学生や食健康科学科の学生にもわかりやすい講義となるように心掛けます。したがって、居住環境学科の学生の中には物足りなさを覚える可能性もあります。そのような場合は、本学附属図書館などで参考文献を調べるなどして、自分で勉強を進めてください。
- ・「導入科目」ですので、広く浅く（実際は、広くはないのですが、そのように思えるでしょう。）説明せざるを得ません。もっと深く勉強したい場合は、やはり図書館などを利用して自ら勉強を進めてください。
- ・できるだけ見やすいスライドを作成するよう努力していますが、図表などの細かい部分の判読は難しい場合があります。できる限り、前の方の座席に座り、自衛してください。また、不明な場合は、その場で質問するようにしてください。
- ・プリントは、毎回、穴埋め形式のものを配布します。講義を聴きながら、空欄を埋めるだけではなく、気が付いたところや面白そうなところをどんどんメモするようにしてください。そのために余白を大きく取っています。また、配布するプリントの内容をそのままスライドで示している訳ではありません。各自で、両者の内容を一致させるようメモを取って下さい。
- ・この講義は、皆さんに自分たちで居住環境を考えてもらうきっかけにすぎません。視野を広げ、様々なことに興味を持ち、参考書などで、自ら進んで勉強するように心掛けてください。
- ・辻原担当分の場合、辻原担当の5回目の講義の際に、レポート課題を出題します。このレポートの評価に出席点を加味して、辻原担当分の評価とする予定です。

### 1. 居住環境への適応と調整 →参考文献 [1] ～ [5] などを参照

#### 住まいの機能

表1 住まいの機能（出典：①， p. 16）



地上に構築された原始住居として堅穴住居は、もともとボビュラーである。中国その他にもあったが、日本では縄文・弥生期を経て奈良時代あたりまで庶民の住居として使われた。

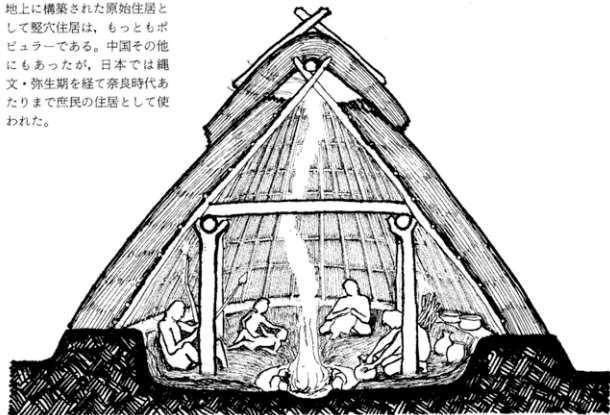


図3 堅穴住居（出典：②， p. 12）

⇒人間も他の生物と同様， \_\_\_\_\_ 環境（物理的環境， 気候や風土など）に \_\_\_\_\_ する能力を持っている。しかし， 生来備わった適応能力にも， \_\_\_\_\_ がある。

住まいの原型 = \_\_\_\_\_ （ \_\_\_\_\_ ） ← 自然の厳しい条件や外敵から \_\_\_\_\_ を守る

⇒人間はその歴史を通じて，

外界の厳しい \_\_\_\_\_ を \_\_\_\_\_ して， また室内の \_\_\_\_\_ を \_\_\_\_\_ して，

人間が \_\_\_\_\_ に， \_\_\_\_\_ に， \_\_\_\_\_ に， そして \_\_\_\_\_ に住めるように努力してきた。

#### 居住環境の調整手法

(1) \_\_\_\_\_ システム： \_\_\_\_\_ を用いて， 環境調整を行う。

(2) \_\_\_\_\_ システム： 機械設備を用いず， 建築自体の部位エレメントの工夫によって， \_\_\_\_\_ を有効に利用しつつ， 環境調整を行う。

→第3回目の1. **パッシブシステムによる環境調節**の技術を参照のこと

## 2. アクティブシステムによる環境調整

空調 = 「 \_\_\_\_\_ 」 (Air Conditioning)

→ 「対象とする空間の \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_」

を, その空間内で要求される値に合うように, \_\_\_\_\_ に処理するプロセス。」

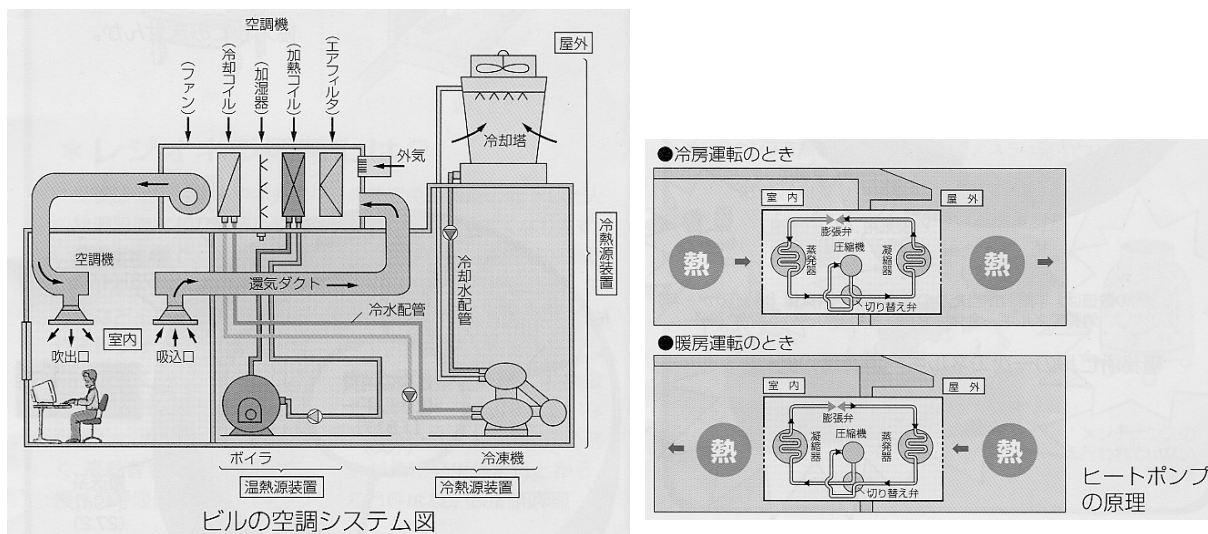


図4 空調システムの基本構成 (出典: ③, p. 9)

### 採暖と暖房 (暖房設備の進化)

\_\_\_\_\_ : 部屋 (= \_\_\_\_\_) ではなく, 体を直接暖めること。「いろり」, 「暖炉」, 「こたつ」など。

\_\_\_\_\_ : 部屋 (= \_\_\_\_\_) 全体を暖めること。

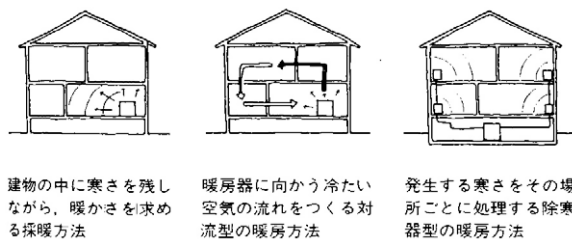


図5 暖房の方法のいろいろ (出典: ④, p. 59)

### 3. アクティブシステムの問題点と解決策

#### (1) 健康にかかわる問題

- ・ \_\_\_\_\_：特に女性に多い。倦怠感，頭痛，下半身の冷感，生理不順を起こす。→配布資料 14～15 ページ参照
- ・ \_\_\_\_\_：室内外の環境の差が大きい時に体が受ける衝撃 →配布資料 16 ページ参照
- ・ 環境への適応能力の \_\_\_\_\_：体温の調節機能が低下する。 →参考文献 [5]などを参照
- ・ \_\_\_\_\_者への影響：自立性体温調節機能が劣化する。
- ・ \_\_\_\_\_ →配布資料 17 ページ参照

⇒⇒冷やしすぎ，暖めすぎに注意！！（\_\_\_\_\_な冷暖房の必要性） →配布資料 15 ページも参照

#### (2) エネルギー消費にかかわる問題 →参考文献 [6]などを参照

⇒⇒\_\_\_\_\_エネルギー化対策

- 1) 建物の \_\_\_\_\_・ \_\_\_\_\_を増す。 →配布資料 18 ページ参照
- 2) 窓は \_\_\_\_\_を工夫し，遮光性，断熱性を増す。
- 3) 照明器具やコピー機は省エネルギータイプのものを使う。
- 4) 空調機器は \_\_\_\_\_効率のものを使う。
- 5) 空調機器は，こまめに \_\_\_\_\_を行う。 →配布資料 19 ページ参照

※ \_\_\_\_\_（→参考文献 [7], [8], 参考 URL [2], [3]などを参照）※※※  
\_\_\_\_\_の住宅， \_\_\_\_\_した住まい，また職場が新しいビルに引っ越したとたん，室内に \_\_\_\_\_と気分が悪くなる，だるい，のどが痛くなる，咳がでるなどの体調の変調を訴えることで問題視されている，比較的新しい病気。

<背景>

- 1) 室内における有害な \_\_\_\_\_の発生量が \_\_\_\_\_した。  
住宅の建材などから発生する有害化学物質(ホルムアルデヒド, 揮発性有機化合物 (VOC))  
や，時にはヘアスプレー，スプレー式殺虫剤など
- 2) 室内の \_\_\_\_\_量が \_\_\_\_\_した。 ←誤った高气密化の推進
- 3) \_\_\_\_\_に反応しやすい人が増加した。

<対策> →配布資料 20 ページ参照

⇒⇒有害物質の放出の少ない建材を使用する。もしくはできるだけ放出させてから使用する。  
十分に \_\_\_\_\_を行う。空気清浄機などで汚染物質を除去する。 など

### 3. 参考文献（〔〕内は、熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

#### 居住環境への適応と調整

- [1] 『絵とき 自然と住まいの環境』（堀越哲美・澤地孝男編，彰国社，1997年2月，¥2,400＋税，ISBN：4-395-00466-0）〔開架2，519||H 89，0000193484〕
- [2] 『INAX BOOKLET 人間住宅 環境装置の未来形』（建築・都市ワークショップ＋石黒知子編，INAX 出版，1999年6月，¥1,800＋税，ISBN：4-87275-808-0）〔開架2，527||Ke 41，0000263601〕
- [3] 『健康に住まう家づくり』（空気調和・衛生工学会編，オーム社，2004年4月，¥2,857＋税，ISBN：4-274-10349-8）〔開架2，527||Ku 15，0000293062〕
- [4] 『生活科学のすすめ』（佐藤方彦編著，井上書院，1988年9月，¥1,900＋税，ISBN：4-7530-2317-6）〔開架2，590||SA 85，0000193022〕，〔開架2，590||Sa 85，0000209576〕
- [5] 『中公新書 837 人間と気候 生理人類学からのアプローチ』（佐藤方彦，中央公論社，1987年4月，¥660＋税，ISBN：4-12-100837-5）〔書庫，080||26||837，0000209979〕

#### エアコン

- [6] 『はなしシリーズ 賢いエアコン活用術 環境にも家計にもやさしい』（北原博幸，技報堂出版，2003年6月，¥1,800＋税，ISBN：4-7655-4437-0）〔開架2，528.2||Ki 64，0000283193〕

#### シックハウス

- [7] 『シックハウス事典』（日本建築学会，技報堂出版，¥2,200＋税，ISBN：4-7655-2456-6）〔開架2，527||N 77，0000255871〕
- [8] 『ブルーボックス B-1416 寿命を縮める家 安全で健康なわが家にする78の対策』（直井英雄・坊垣和明，講談社，2003年8月，¥800＋税，ISBN：4-06-257416-0）〔開架2，408||Bu 1||B-1416，0000277976〕

#### 建築に関する入門書

- [9] 『「建築学」の教科書』（安藤忠雄ほか著，彰国社，2003年6月，¥2,286＋税，ISBN：4-395-00542-X）〔開架2，520||A 47，0000272874〕
- [10] 『新版 建築を知る はじめての建築学』（建築学教育研究会編，鹿島出版会，2004年11月，¥1,900＋税，ISBN：4-306-04445-9）〔開架2，520||Ke 41，0000300761〕  
→巻末に「よんでおきたい本」リストあり
- [11] 『建築を拓く 建築・都市・環境を学ぶ次世代オリエンテーション』（日本建築学会編，鹿島出版会，2004年10月，¥2,200＋税，ISBN：4-306-04442-4）〔開架2，520.4||N 77，0000286600〕

→巻末に「建築を拓くブック ナビゲーション」リストあり

- [12]『建築文化シナジー けんちく世界をめぐる10の冒険』（伊東豊雄建築塾編著，彰国社，2006年10月，¥1,905+税，ISBN：4-395-24106-9）〔開架2，520.4||I 89，0000311455〕
- [13]『建築 虎の穴 見聞録 訪ねて歩く材料と工法』（大嶋信道著，新建築社，2005年5月，¥2,400+税，ISBN：4-7869-0186-5）〔開架2，524.2||O 77，0000300762〕
- [14]『新現場楽ノート』（那須武秀，理工図書，2006年7月，¥2,800+税，ISBN：4-8446-0711-1）〔開架2，525.5||N 56，0000311456〕

#### 図版の出典

- ①『図解住居学1 住まいと生活』（図解住居学編集委員会編，彰国社，1999年12月，¥2,800+税，ISBN：4-395-28031-5）〔開架2，527||Z 6||1，0000243208，0000251024〕
- ②『住環境の計画1 住まいを考える』（住環境の計画編集委員会編，彰国社，1992年12月，¥2,845+税，ISBN：4-395-00261-7）〔開架2，527||J 92||1，0000185157〕
- ③空気調和・衛生工学会パンフレット『空気・水・熱』（発行年月不明，価格不明）〔所蔵なし〕  
→ <http://www.shasej.org/air/air.html>
- ④『建築教材 雪と寒さと生活I発想編』（日本建築学会編，彰国社，1995年2月，¥3,000+税，ISBN：4-395-00381-8）〔開架2，524.92||N 77||1，0000185167，0000236019〕〔書庫，524.92||N 77||1，0000161705〕

#### 4. 参考 URL

[1] 講義資料のダウンロード

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>

[2] 国土交通省のシックハウスに関するホームページ

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/sickhouse.html>

[3] すまいの情報発信局のホームページから「特集 知っておきたい シックハウス対策」

<http://www.sumai-info.jp/sick/index.html>

◇◇ 質問などは，

環境共生学部西棟（旧棟）旧棟4階南西角（407）の辻原研究室まで

電話：096-321-6706，もしくは383-2929（内線492）

e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

▽参考資料 (新聞記事から)

【冷房病に関連した新聞記事】

### 誰にでもできる冷え解消法

**冷たい食べ物や飲み物をとらない**  
→ 焼いたり煮たりして体温より温かくする

**魚を食べる**  
→ 血液の流れをよくする

**湯たんぽを使う**  
→ 冷えやすい腰やおなかを温める

**お風呂に入る**  
→ ぬるめのお湯にゆっくりつかる

**服装に気をつける**  
→ 肌を出さない、締め付けない、首・手首・足首を温める

**運動をする**  
→ 筋肉を付けて代謝をよくする

(川嶋准教授の話をもとに作成)

## 夏の冷えに要注意

### 過度の冷房、自律神経の調節に乱れ

暑い夏は女性にとって冷えが気になる季節でもある。過度な冷房で体が冷えると、自律神経が乱れ、体調不良を招く。夏バテや秋バテの原因にもなる。夏でも温かい食事をとるなど、日常生活でできる簡単な対応で冷えの防止を心がけたい。

花王などが協賛する「血めぐり研究会」が5月、20代、40代の働く女性300人を対象に冷えに関するアンケート調査を実施した。7割近くが「夏に冷えを感じる」と回答した。そのうちほとんどの人が疲れやだるさを訴え、8割以上の人に肩こりがあった。

「ここ数年で、温暖化対策のため冷房の設定温度を上げるクールヒズが普及しているが、女性にとっては夏のオフイスはまだまだ厳しい状況のようだ。」

「室内が寒すぎ」  
夏場は、外は暑く室内は寒いという極端な温度変化にさらされるため、体温調節など体調を整える動きをする自律神経の調節がうまくいかなく

全身が冷える冬とは異なり、夏は肩や首、足などの露出している部位が冷えやすい。冷えた場所の筋肉が硬くなり、肩こりや頭痛を訴える患者が増える。

体の冷えを放っておくと、体温が低下したり血液の流れが悪くなったりする。筋肉が硬くなり肩こりに悩むようになる。

「秋バテ」増える  
夏の冷えは夏だけでなく秋の体調不良を引き起こすこともある。麻布ミューズクリニック(東京・港)の渡辺賀子院長は「夏の冷えの影響で、秋口に疲れやすくなったり食欲が低下したりする。秋バテになる人が最近増えている」と説明する。

夏の冷え対策には、冷たい食べ物や飲み物避け、温かい食事をとることが効果的だ。体温よりも温度が高いものを取るようにするとよい。

例えは、そうめんよりもゆづめん、サラダよりも温野菜というように、火が通った物を食べる。

寒いオフィスでデスクワークを長時間する人には、「夏でも湯たんぽがおすすすめ」と川嶋准教授。腰やおなかなど冷えやすい部分を中心に当てただけで全身が温まる。

湯たんぽは夏には店頭に並ばないことも多いが、手に入らない場合はペットボトルで代用できる。ペットボトルに40度くらいのお湯を入れてタオルでくるむ。

家ではシャワーではなくお風呂に入る。ベッドに入る前に38〜39度のぬるいお湯に30分間ほどつかると、体が温まるだけでなく、リラックス作用がある副交感神経が働くため、よく眠れるようになる。ただ、血めぐり研究会の調査では「夏に冷えを感じる」と回答した女性のうち1割は特に対策を取っていないかった。半数近くは「入浴はほぼ毎日、シャワーのみ」と回答した。冷えを感じていても、大したことはないそのままに放っておくことが多いようだ。

運動で代謝促進を  
冷えを根本的に解消するには、運動をして筋肉をつけるしかない。女性で冷えを感じる人が多いのは、体に行っている筋肉が少ないため、筋肉が付くと代謝がよくなり熱をたくさん産生するようになる。

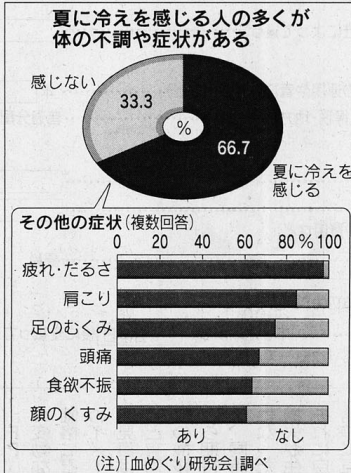
ただ、忙しい日々で運動の時間を見つけるのはなかなか困難。川嶋准教授は「エスカレーターやエレベーターを使用せず、階段を上り下りする。通勤途中で一駅分歩いたりするだけでも効果的」とアドバイスしている。

(長倉克枝)

### ひとくちガイド

◆冷えによって起こる体の不調やその対策についてわかりやすく解説  
「心もからだも『冷え』が万病のもと」  
(川嶋朗著、集英社)

◆冷え性をタイプ別に分類して対策を説明  
「アイヘルス」(<http://www.ihealth.co.jp/index.html>)



→冷やしすぎに注意  
→→自衛手段も準備しよう!

【冷房病、適切な冷房などに関連した新聞記事】（2000年7月13日付日本経済新聞）

もうそろそろ夏本番。暑さも本格的になってくる。人の暑さ寒さの感じ方は、空気温度、天井・壁・床の温度、気流、湿度、着衣量、活動量、この六要素の組み合わせで決まる。例えば、空気温度が多少高くなっても、気流があれば涼しく感じるもの。これらを考慮して、快適な夏の過ごし方を考えてみた。

夏に思い出すのが、田舎によくあった涼しい民家。外から家の中が丸見えになることもおこまいなしに戸を開け放す。風が気持ちいいように通る。都市部でもそのような住宅を手に入れたいものだが現実には難しい。

都心ではヒートアイランド現象によって夜間気温が下がりにくく、涼気そのものが得難い。

## マイホーム 安心の設計図

▷田辺 新一

防犯上の理由から窓を開放して就寝することもかなわなくなってきた。また家電製品も圧倒的に増え、屋内での発熱もかなりのものだ。従って、現代の生活では、夏を涼しく過ごすには、エアコンをうまく使いこなすことが不可欠なのだ。

そもそも、エアコンなしになんとか過ごせるのは、室温が三〇度くらいまで。これを超えると扇風機を最強にしても効果が少ない。皮膚と気温の差が小さくなると体から奪われる熱は少なくなり、たとえ気流があっても涼しいと感じないからだ。そこで、エアコンである程度の冷気を作り出すことが重要になる。

### エアコン活用法

## 扇風機と併用し体調維持

さて、寝苦しい夜、タイマーセットしたエアコンが切れた後のムツとくる不快感を避けたため、一晩中つけている人も少なくないのではないかと。この場合、直接体に冷気が当たらないように注意する必要がある。

就寝前は体の代謝がまだ活発で暑く感じているが、いったん寝てしまえば代謝が下がり、同じ環境ならば寒く感じるようになるからだ。また、朝方にかけて建物全体の温度も下がってくるので、エアコンからの冷気が寝ている床付近に到達することになる。人間は着衣量の少ない時には、わずかな温度変化も敏感に感じるから、わずかに室温が下がると、かえって体調を悪くする。ここで、エアコンは室内空気を循環させ冷やしているだけだから、換気はしていないことに留意して欲しい。防虫剤や電気式の蚊取り線香を過度に使用すると室内空気を汚染する。エアコン使用にあわせて浴室換気扇などを使用して空気の入れ替えをするように。

（早稲田大学助教授）



絵・相馬 公平

- エアコンを上手く使いこなそう！
- 我慢をしすぎるとかえって健康を損なうことも。
- エアコンと扇風機を上手く組み合わせて使用する。
- ただし、換気には注意！



【ヒートショックに関連した新聞記事】（2002年12月30日付け熊本日日新聞）

# 脳卒中 寒い時期に用心

発症時間に2回のピーク——  
**午前7時と午後5時**

**【脳卒中の月別発症割合】**

脳梗塞、脳出血、くも膜下出血

**【急激に発症した脳卒中の発症時間】**

脳出血、くも膜下出血

※旧厚生省研究班の調査による

## 高齢者は一番風呂避けて 血圧の管理大切

大塚医師は「冬は四二度を超えようとなくない。三十一四〇度くらいぬるめのお湯に十分くらい時間をかけて入るよ」と話す。浴室全体を暖かくしておく工夫や、汗を出してどうぞろになった血液をさらさらに戻す入浴後の水分補給も欠かせない。

脳卒中で倒れたときは、まず誤嚥（えん）を防ぐため、ネクタイやベルトを緩めて気道閉塞（へいそく）を起さないように呼吸を楽にさせる。重症の場合は速やかに救急車を呼ぶ一方、患者を搬送しやすい状態にするのも大切だ。

一方、同病院循環器科の藤本和輝医師は、「心臓病も入浴時の寒暖の変化が悪影響を及ぼす」と指摘する。同医師は一九九八年十月から四年間に診察した患者二百九十人を分析した。その結果、月別の来院患者数に大きな変動はなかったが、冬場の患者は寒暖ストレスが原因で心筋梗塞の発作を起して運ばれるケースが際立った。年末年始は、忘年会や新年会などで酒を飲む機会が増え、発作の誘因になる。「つい降圧薬を飲み忘れた」という患者も少なくない。ウォーキングなどの軽度な運動も、「毎日続けているから」といって、冷え込みが厳しい早朝に頑張りすぎるのは薬物。気温が上がった時間にすたり、運動量を減らす工夫を」と注意を促している。

旧厚生省の研究班は、一ピークがあった。九八三（昭和五十八）年から十一年間、秋田県の全住民約百二十万人を対象に脳卒中の大掛かりな疫学調査をした。脳梗塞（こうそく）、脳出血、くも膜下出血の月別の発症割合や一日のうちどの時間帯に発症しやすいかをまとめた。

それによると、脳卒中の発症は、寒い時期に発する傾向がある。二十四時間の変動をみると、午前七時～一時間と午後五時～七時の二単位で月曜日に血圧が高くなる。

大塚医師によると、平均血圧と朝の血圧を下げることがポイント。一般的に平均血圧は就寝前、最も血圧が高くなるのは起床後の各者が寒い時期の一番風呂は避けた方がよい」という理由だ。

暖房が効いた部屋から寒い脱衣場や浴室で裸になる。急いで血圧が上がる。そのまま熱い風呂に入るとさらに血圧が上がる。「高齢者は寒い時期の一番風呂は避けた方がよい」という理由だ。

大塚医師によると、平均血圧と朝の血圧を下げることがポイント。一般的に平均血圧は就寝前、最も血圧が高くなるのは起床後の各者が寒い時期の一番風呂は避けた方がよい」という理由だ。

暖房が効いた部屋から寒い脱衣場や浴室で裸になる。急いで血圧が上がる。そのまま熱い風呂に入るとさらに血圧が上がる。「高齢者は寒い時期の一番風呂は避けた方がよい」という理由だ。

- 急激な環境の差は、体に大きなストレスを与える。特に幼児や高齢者に注意。
- 冬季では、お風呂場に入る際や、離れの便所に行く際など
- 夏季では、冷房の効きすぎた部屋に入る際や、暑い屋外に出る際など
- だからといって、全く環境に差がないとそれはそれで・・・。

【結露に関連した新聞記事】（2005年1月22日付け日本経済新聞）

室内の窓ガラスに水滴が付き、垂れ落ちて窓枠や壁紙をぬらす結露。カビの発生を促し、家を痛めるだけでなくアレルギーや気管支炎など、住まう人に健康被害をもたらしかねない。シャッターウツのカビは湿度と温度のコントロールだ。手軽にできる対策を採った。

「レースカーテンがぬれたガラスに張り付き、カビで黒ずんでしまった。窓から垂れ落ちる水で壁紙がはがれたりカビが生えた」。結露はINAX調べ、三十四十歳代の主婦の八九%が「経験したことがある」とい、七四%が「冬場に気になるとい」。気密性が高い現代住宅ならではの悩みでもある。



断熱シートをガラス窓に貼ることで結露が防止できる

# 結露を絶つ

「毎朝の結露が日課」（川崎市主婦64）。ついには結露がすぐにき取るのが急激に下がって水滴に変わる現象。窓だけでなく壁、玄関ドア、天井や床下などでも発生する。家の内外の気温差が大きく、室内の湿度が高いほど生じやすい。

一番、新聞紙を挟みこんでおき、吸水させた後そのまま窓ガラスをふき掃除すると一石二鳥。市販の吸水シートもあるが、人目につかない場所なら古布などで代用できる。

ガラス面の温度は一枚ガラスは一度だが、ペアガラスなら一六度となり結露しない。空気層を挟んだ断熱シートを窓ガラスの室内側にはる手所なら古布などで代用できる。

冬の結露対策のポイント	
換気	換気は風の入り口と出口を考え、家全体に風を通す。目安は2時間に1回、3分
	風呂やトイレ、台所の換気を回しつ放しにする
	台所使用時は必ず換気
窓	就寝前、暖房を切ったら5分換気
	洗濯物を室内に干さない。干すならそばに除湿器を置く
	押し入れの床面だけでなく壁面にもすのこを置き空気を循環させる。普段は5センチくらいひすまを開けておく
暖房	ペアガラスや断熱サッシに換える
	断熱シートをはる。透明や半透明のものがあるので部屋により使い分ける
	棧に新聞紙や古布を詰め吸水させる。ついでに新聞紙で窓ガラスをふき掃除する

## 窓に断熱用シート 換気は2時間に1回



いろいろな形状・種類の結露対策の商品が売られている（神奈川県厚木市のピーパートサン厚木店）

乾燥して密着させる。メーカーのシート（東京都中央区）によると部屋が二層以上の場合は、窓の四〇%が人間にも建物にも密着させる。

「乾燥して密着させる。メーカーのシート（東京都中央区）によると部屋が二層以上の場合は、窓の四〇%が人間にも建物にも密着させる。乾燥して密着させる。メーカーのシート（東京都中央区）によると部屋が二層以上の場合は、窓の四〇%が人間にも建物にも密着させる。」

「一度、外が三度でも結露せず暖房効果も向上が見込めるといっ。空気層が断熱効果を持つなら、こん包用のエアキャップも使える。ガラスとシートの間に湿気が入り込まないよう、テープなどで縁を密着させるのがポイントだ。ほかに、サッシの断熱を高めるテープ、既存の窓に装着とライルムを取り付け手軽にペアガラス状態を作る商品、親水性の薬剤で水垂れを抑える結露防止剤もある。冬は乾燥しがちの思いこみが結露を招いている。積水ハウス総合住宅研究所の植洲晴男主任は「人間に快適な湿度四〇～六〇%。冬なら下限の四〇%が人間にも建物にも密着させる。」

- 結露によるカビで健康を害する可能性も！
- なにはともあれ、「換気」！寒いからと言って、1日中窓を閉め切らない。

【エネルギー消費に関わる問題、特に断熱性・気密性を増すことに関連した新聞記事】

(2007年1月27日付日本経済新聞)



杉良太郎の演歌であれば  
哀愁もあるが、住宅のすき  
ま風は実に不快だ。また、  
冷たい窓を沿ってくる風や  
エアコンから直接体に当た  
る風も住み心地を悪くす  
る。古い言葉では冬の不快  
な風を「賊風（ぞくふう）」  
と呼んだ。寒い風がやって  
来るみたいで、良い表現に  
感じする。

すきま風対策のためには、  
もちろんすき間を少なく  
することが大切である  
が、窓などの開口部の断熱  
を強化することも効果があ  
る。そっはいつても、窓を  
複層ガラスに換え、気密改  
修工事をするにはかなりの  
予算が必要になる。

良い方法としてカーテン  
の下端を床に付くようにす  
る方法がある。コンセント

## 安心の 住まい

窓面を沿った冷たい空気を  
室内に入れるのを防ぐこと  
ができる。断熱ブラインド  
も市販されている。

簡単な日曜大工で住宅内  
のすき間を小さくすることも  
可能である。戸建住宅の場合、  
畳の下に断熱シートを引  
き、長押（なげし）の後ろ  
にあるすき間を小さくこと  
がおすすめされる。また、電  
気のコンセントボックスか  
らもすきま風が入ってくる  
ことがある。コンセントボ  
ックスのねじを締め直すだ

### すき間風

## 「C値」目安に気密度検証

けで効果がある。窓のすき  
間にもゴム状ですき間をい  
さへパッキングのようなも  
のが市販されている。

玄関や出入り口のドアの  
下にあるすき間も要注意で  
ある。DIY店などで販売  
されているすき間テープな  
どで小さく良い。暖房効  
率は格段に向上する。もち  
ろん暖房費だけの問題では  
なく、体感温度も向上する  
し、不快感も少なくなる。  
すきま風を少なくすること  
によって室内の上下の温度  
差も小さくなる。

それでは、新築住宅やマ  
ンションを購入する際には  
何を基準にすればよいだろ  
うか。住宅のすき間面積を  
表す尺度として「C値」が  
ある。C値とは床面積当た  
りのすき間面積を表したも  
のである。値が小さくなれ  
ば、すき間は少ないことに  
なる。関東地方では一平方  
メートルあたり五平方メートル以下で  
なければ、気密化された住  
宅とはいえない。北海道や  
東北などの寒冷地では同二  
平方メートル以下が必要だ。断  
熱性を表す「Q値」ととも  
に住宅選びの基準となる。

(早稲田大学教授  
田辺 新一)

→すきま風対策は、ちょっとした工夫から！

→→ 住宅の購入の際には、C値やQ値にも注目。

【エネルギー消費に関わる問題、特に空調機器のメンテナンスに関連した新聞記事】

(2001年7月5日付日本経済新聞)

湿度が高く暑い日には、エアコンのスイッチについて手が伸びてしまう。都市部では一家に二台も珍しくない。身近なエアコンではあるが、はたして上手に使用しているだろうか。夏本番に入る前に自宅のエアコンについて再点検してみよう。

エアコンの内部には冷媒といわれる液体があり、それを蒸発させる。その際、周囲の熱を奪うので、結果的にまわりの空気が冷える。化粧品などのスプレーを使うと缶を持つ手が少し冷たくなるのと同じ原理だ。逆に気体となった冷媒を液体に戻す時には熱がでる。室外機からの熱風はこの排熱である。

従って、室外機と建物の壁の間のすき間が狭かったり、直射日光が当たって熱がうまく逃げなかったりすると、冷房効率は格段に悪くなる。すき間は少なくとも十センチは欲しい。室外機の設置場所を配慮することが大切である。

また、エアコンを使う際に注意しなければならないのが部屋の換気。エアコンは室内の空気を循環させて冷却しているに過ぎず、室内の空気は入れ替わらない。

最近の住宅は気密性が非常に高い。マンションでは、窓を閉めきっていた場合、空気の入れ替えに十時間もかかる。室内で

# マイホーム 安心の設計図

田辺 新一

## エアコンを点検

### 内部を清掃、カビ防ぐ

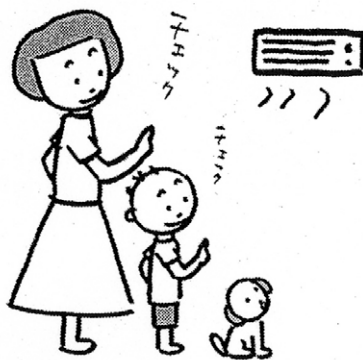
発生するにおいや汚染物質を外部に排出して室内を清浄に保つためには、最低でも二時間に一回は空気を入れ替えなければならぬ。

夏場には建材などからホルムアルデヒドの発散が多くなり、換気なしでは頭痛やはきをおすスプレーなども手に入る。

エアコンのスイッチを入れた時の、いやなおいはカビが原因だ。日曜大工でカビを除去するスプレーなども手に入る。

専門業者も多くなってきたので、利用するのも一手だ。

また、冷却除湿された水が室内機の中にたまっていて、試運転をして外にあるホースから水が排出されているかを確かめよう。



絵・相馬 公平

こすシックハウスになってしまふ。もちろん、換気をすれば外から暑く湿った空気が入ってくる。熱を取り込まずに空気を入れ替える、熱交換型の換気扇を利用する方法もある。エアコンと併用すれば省エネにもつながる。

それから、夏の本格的な使用にそなえて、エアコンの掃除をしよう。室内機のカバーを開けると冷却フィンと呼ばれる板が並

エアコンの電気代は気になるところである。住まい手が工夫して電気代を下げれば、地球環境に良い。また、日中はすだれなどを利用し、極力日光をすれば快適性も向上する。室内の床、壁、天井の温度を上昇させないようにすると、同じ温度でも涼しく感じる。

(早稲田大学教授)

→エアコンを使う前には、是非掃除を！

→電気代も安くなる。

【シックハウスに関連した新聞記事】（2006年6月10日付け日本経済新聞）



化学物質で目やのどが痛くなったり、体調が悪くなったりするシックハウス症候群。新築住宅に住む人、これから購入しようと思っ  
ている人は心配だろう。  
シックハウスを引き起こす化学物質の代表格がホルムアルデヒド。二〇〇三年の改正建築基準法の施行により、建材への使用が制限された。防蟻（ぼつぎ）剤にクロルピリホスを使用することも禁止された。  
知らない人も多いが、二十四時間機械換気の設置も義務付けられた。最近の集合住宅や戸建て住宅は、省エネルギーのため気密性が高い。気密性が上がると、すき間風を防いで暖かく快適に生活できるが、適切に換気しなければ室内に汚染

物質がたまってしまっ。築十五年より新しいマンションでは、窓などを閉じると十時間でやっど部屋の空気が一回入れ替わるかどうかというほど気密性が高い。積極的に窓を開けたり、浴室やトイレの換気システムを長時間動かしたりして、室内の化学物質濃度を下げる努力が必要だ。  
新築やリフォームの際は「F☆☆☆☆」と表示してある建材を選ぶ。これはフォースターと呼ばれ、ホ

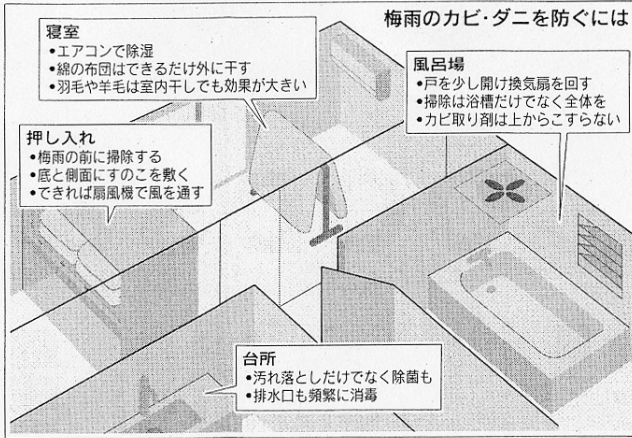


## シックハウス症候群 対策を施した建材選ぶ

ホルムアルデヒド対策が施されていることを示す。  
ただ、シックハウスの原因となるのはホルムアルデヒドだけではない。室内の化学物質には多くの種類がある。揮発性有機化合物（VOC）のいくつかの物質に関しては厚生労働省が指針値を公表しているが、それすら法的規制はない。  
これに対し、進んだ業界団体は自主的な表示制度を始めている。例えば、壁紙のISM規格。この規格の商品を選んでもそれほど材料費が上がるわけではないので、できれば対策がしっかりした安心のマークが付いた製品を選んでほしい。  
建材にいくら気を付けても家具や家電製品なども化学物質を放散している。海外ではこれらへの法規制を考える動きもある。日本でもパソコンに関して、電子情報技術産業協会（JEITA）はパソコンが放出する化学物質の指針値を自主的に定めている。可能なら指針値を守っているPCケリーンラベルのあるパソコンを購入するとよい。  
（早稲田大学教授 田辺 新一）

- まずは、有害な化学物質を使う建材や塗料などを使わないこと。
- もしも有害な化学物質が発生した場合は、とにかく換気！部屋の中から追い出すこと。
- 空気清浄機などを使うと効果があることも。

【これからの時期の室内環境調整に関連した新聞記事】



梅雨の季節が近づいてきた。部屋にもなる湿度はシメシメと不快だけでなく、カビやダニの原因にもなる。カビが生じやすい水回り、ダニの心配が多い寝室を中心に、住まいの梅雨対策を考えてみよう。

カビが繁殖する要素は気温、湿度、栄養分の三つ。セ氏二〇〜三〇度、湿度七〇%以上だとカビは急速に増える。トイレタリー大手のライオンによると、二十四時間で百倍以上にも増殖するといふ。この条件に近づいたら合点が梅雨時だ。

室内で特に問題なのが風呂や台所などの水回り。まず風呂場では、風通しに注意する。「換気扇をいつも回す」という家庭も多いだろうが、暮らしのD I

# 梅雨を乗り切る知恵

Yアドバイザーの油田加寿子さんは「ちゃんと動いているかまず確かめて」と助言する。汚れや故障で機能していないことがあるためだ。たばこ線香の煙を近づけ、空気を吸っていない、よつなら掃除や交換を考える。換気扇の使い方にも注意。風呂場を締め切ったまま換気扇は流れていない。窓を開け、戸も少し開けて脱衣所から乾いた空気を流れ込ませる。風呂を出るときに天井をタオルでぬぐった。ゴムペラで水滴を落としたりするのにも有効。洗濯用に浴槽に水を残すなら、必ずふたを閉める。

湿度があってもシャブーや湯あかなどの栄養分がなければ、カビは繁殖しない。「どろろしてもカビを発生させたくない場所はまめに掃除した方がいい」と油田さん。風呂掃除を毎日しているも、浴槽の内側しか洗っていないことが多い。汚れた目地やゴムパッキンにカビの黒い染みができていたら、まずスポンジですこすってみる。駄目なら次亜塩素酸塩などを用いた市販のカビ取り剤を使う。その場合、「決してこすらないこと」(ライオン家庭科学研究所の有村秋子さん)。カビ

取り剤は殺菌して漂白する。こすると液が分散して効果が落ちる。つえ、体や洋服に散る恐れがある。

次に台所。雑菌が繁殖すれば食中毒にもなりかねないだけに、汚れを落とすだけでなく、除菌も欠かせない。まな板は包丁跡に汚れがたまりやすい。たわしなどでかき出してから消毒。漂白剤を使うなら薄めておけに張り、まな板を浸す。まな板がおけに収まりきらなければ、ふきんをかける。漂白剤が吸われて、全体に行き渡る。泡が出るスプレータイプの除菌剤も最近増えている。「勢いよきよちりレバーを引くと、泡がしっかりできる」(油田さん)ので、全面を覆うようしっかりかける。包丁は柄と刃のすき間に汚れがたまる。弱いアルコール漂白剤で除菌する。

水回り以外では、押し入れやたんすも空気がよどみ、カビの温床となりやすい。カビを栄養分としてダニが増えるのも大きい

## 戸開け換気扇 台所は除菌も

な暖み、ダニもカビと同様、暖かく湿った場所が好きだ。かゆみやぜんそくなどのダニアレルギーはダニの死がいでも生じる。ダニ対策に効果的な布団の干し方も覚えておきたい。

木綿などの植物性繊維は羽毛や羊毛などの動物性繊維に比べ吸った湿気を放出しにくい。そのため晴れ間があれば「木綿の布団を優先して外に干す」とい



室内では布団をいすの上などにかけて両面に風を通す

外に干す場合も、水蒸気が残る早朝は避け、午前十時から午後二時までを目安に。遅い時間はかえって湿度を吸う。片面二時間ずつ、両面干すと。ダニの死がいは布団に残るので掃除機で吸う。丸洗いで洗える布団もダニ対策に有効だ。

とはいえ、梅雨には外に干せないことも多い。そこで室内干し。布団を敷きっぱなしにせず、いすや台の上に向け、エアコンで除湿をして扇風機で風をあてる。動物性繊維の布団は、特に効果が大きいという。布団乾燥機も役に立つが、布団が熱くなるので使うなら午前中がいい。

→一人暮らしの人にとっては、初めての梅雨。快適に過ごすために一工夫!!